

地域の

公共施設の 未来を考える ワークショップ



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

【第5回】 麻生区

令和 6年 11月 4日 (月・祝)

14:00～17:00



本日の進め方

14:00 川崎市からの説明

14:10 第3回・第4回の振り返りと本日の進め方の説明

14:20 第一部 第3回・第4回の成果の共有（60分）

～他のエリアの成果を共有し、感想を出し合おう～

15:20 - 休憩 - （20分） 本日の成果を掲示しておきますので、ご自由にご覧ください。

15:40 第二部 トークセッション（50分）

～トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返ろう～

16:30 今後の予定・アンケート記入

17:00 閉会



記録作成のため、スタッフが写真撮影をします。
NGの方はお近くのスタッフまでお知らせください。

1

川崎市からの説明

1 川崎市からの説明①

オープンハウス説明会の結果報告

1 川崎市からの説明①

■オープンハウス説明会 令和6年10月13日（日）

「あさお区民まつり」にて、この取組のパネル展示やチラシ配布を行い、広く市民の皆さまに周知しました。また、公共施設の使い方についてシール投票を行いました。



【パネル展示の様子】



【シール投票の様子】

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

【現地で展示したパネル】

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

公共施設の未来を考える取組について

シール投票で缶バッジをもらおう！

クイズに答えてお菓子をもらおう！

川崎市

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

川崎市の公共施設を取り巻く現状と課題

市の公共施設の老朽化が進みます

- 市の公共施設は約 1,100 あり、10 年後には約 76% が築 30 年以上に達することから、施設機能の低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う課題が懸念されています。
- また建設費は水山の一角で、その後に維持管理費や事業運営費など、約 9 倍の費用が必要となる状況です。

築 30 年以上が約 76%

10 年後の公共施設

B の使用の合計は A の 9 倍！

① 建設費
② 光熱費
③ 維持管理費
④ 修繕費
⑤ 解体費
⑥ 事業運営費

人口減少への転換が見込まれます

- 市の人口は令和 12 (2030) 年頃における約 160.5 万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定される状況です。
- 人口減少に伴い、1 人あたり㎡ 数 (公共施設の床面積 ÷ 人口) が増加し、公共施設を維持するための市民 1 人あたりの費用負担も増大が見込まれる状況です。

川崎市の将来人口推計

ピーク

減少見込

令和 2 (2020) 年 153.6 万人
令和 12 (2030) 年 160.5 万人
令和 42 (2060) 年 148.7 万人

以上を踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは非常に困難です

市民負担を要えずに、市民サービスの質の維持・向上を図るためには、当面の人口増加に対応しつつ、公共施設の床面積を増やさない取組を行うことが必要です

資産マネジメントの取組を進めます

- 将来世代の負担が重くならないよう、公共施設の保有財産を適切に管理することが必要です。
- 資産マネジメント第3期実施方針を策定し、「機能重視」の考え方に基く取組と、資産保有の最適化を重点的に推進します。
- これまで重点的に取り組んでいた施設の長寿命化については、資産保有の最適化を踏まえた上で取組を推進します。

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

基本的考え方及び取組

みんなでもっとうまく施設を使えないかな？

従来の考え方

特定の目的別、対象者別に施設を整備

子どもが利用する施設
高齢者が利用する施設

「機能重視」の考え方

施設が持つ機能（提供するサービス）に着目し、市民ニーズ等を把握した上で施設を整備

誰でも利用できる機能
子どもや高齢者が利用できる機能
多世代で運動できる機能
多世代でくつろげる機能

利用状況や将来の利用想定等を踏まえ機能のあり方の整理を行い、施設の複合化や多目的化等の手法（※）を用いることにより、施設の適正配置を図るものであり、主に次の取組を検討します。

- 地域の利用状況を踏まえた資産保有の最適化検討
公共施設、人口動態、地域課題などの地域ごとの状況を踏まえた施設の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。
- 機能ごとの資産保有の最適化検討
ホール施設の適正配置や学校プールの最適運用など、同一機能や有している様々な施設機能の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。

（※）施設の複合化、多目的化のイメージ

複合化 施設の建て替えなどの際に、異なる機能を一緒にします

子どもだけ
高齢者だけ
複合施設
複合化施設
みんなが利用できる

良い点
● 管理費の削減
● 施設稼働の改善
● 利用者間の交流促進など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

多目的化 利用しない時間帯や未稼働のスペースを有効に使用します

昼間にだけ利用
夜間も夜間も利用
良い点
● 多様な市民ニーズへの対応
● 施設の利用率の向上など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

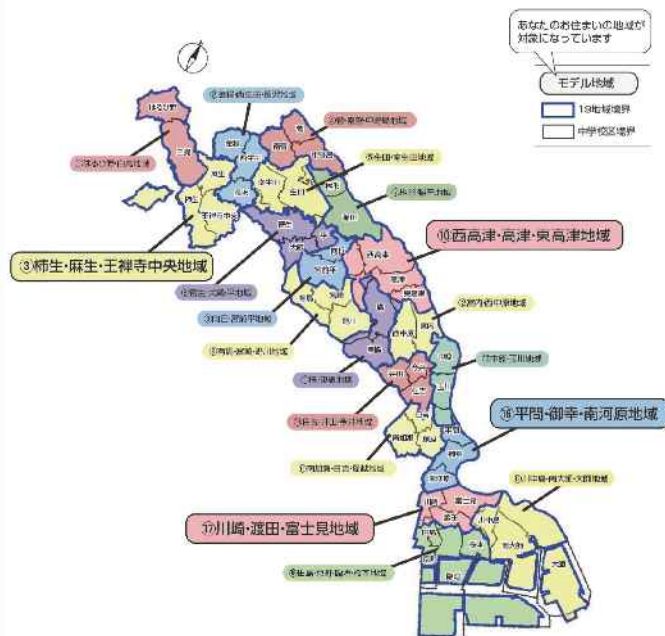
【現地で展示したパネル】



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

4つのモデル地域を選定して検討

地形、鉄道路線・バス路線の状況、町内会・自治会のエリア等も踏まえ、一旦、2～4程度の中学校区単位を基本とし、「地域」の仮設定（19地域）を行いました。19地域の中から、地域の施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、モデル地域4地域の選定を行い、令和5年度から検討を開始しています。



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

市民の皆様と一緒に、身近な地域の将来像や、将来に向けて公共施設に必要な機能を検討するワークショップを開催しています。

第1回

公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」をやってみよう！

令和5年11月～12月開催

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」は、施設の老朽化や人口減少を迎える未来で、公共施設をどのように活用していくか、楽しく遊びながら理解を深められる川崎市オリジナルのボードゲームです。

各グループのキャッチフレーズの例

- IT化が進み元気なシニアが活躍するまち
- 多世代がゆるくつながるまち
- スポーツで元気もICTもみな楽しく元氣なカワタン
- AI（あい）・AI（エ・アイ）で生活学習のまち



第2回

魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう！

令和6年2月～3月開催

20年後の川崎市に生活する人物（仕事、家族構成、何歳、趣味や日常の行動）をイメージしたカードを選び、その人物の状況（日常の過ごし方、困り事など）を考えました。その人たちがいきいきと暮らしている地域の将来像を出し合い、魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えました。

各グループのまとめの例

- 集中して勉強・仕事ができるスペースがまちにあることを目指そう
- 駅前駅は賑やかでよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるように
- 既存施設をより活用するために、PR強化、企業との連携、多目的などが大切
- 様々な世代が一緒に過ごせる、生涯学習の場や交流の場のようなものがあるといい



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

第3・4回

エリアの将来像を考え、公共施設にあつたらしいなと思う機能やニーズを考えよう！

令和6年7月～10月開催

エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考え、さらにその将来像を実現するために、公共施設にあつたらしいなと思う機能やニーズについて意見交換しました。第3回目と第4回目は、対象エリアを変えて同じ内容で行いました。

意見の例

- 利用率高い施設にカフェなどを入れて、交流に立ち寄れるように
- 子供向け施設と老人向け施設を一緒にして多世代交流を
- 仕事帰りでも利用できるよう、夜も開いているといい
- もっと親しみやすいイメージに



参加者からの声（アンケート結果より）

- 色々な世代の方の意見を聞けてとても参考になった
- 施設の老朽化は避けて通れないから、しっかり考えて魅力的なまちにしていきたい
- 地域の公共施設のことを知る良いきっかけになった
- エリアや公共施設についての資料がわかりやすかった

実施内容は川崎市HPに公開しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000157369.html>



1 川崎市からの説明①

「公共施設がどうなったら使いやすくなるか」について、シール投票を行ったところ、約400人の多くの方々に投票いただき、特に小中学生やお子さま連れのご家族の皆様から投票いただきました。

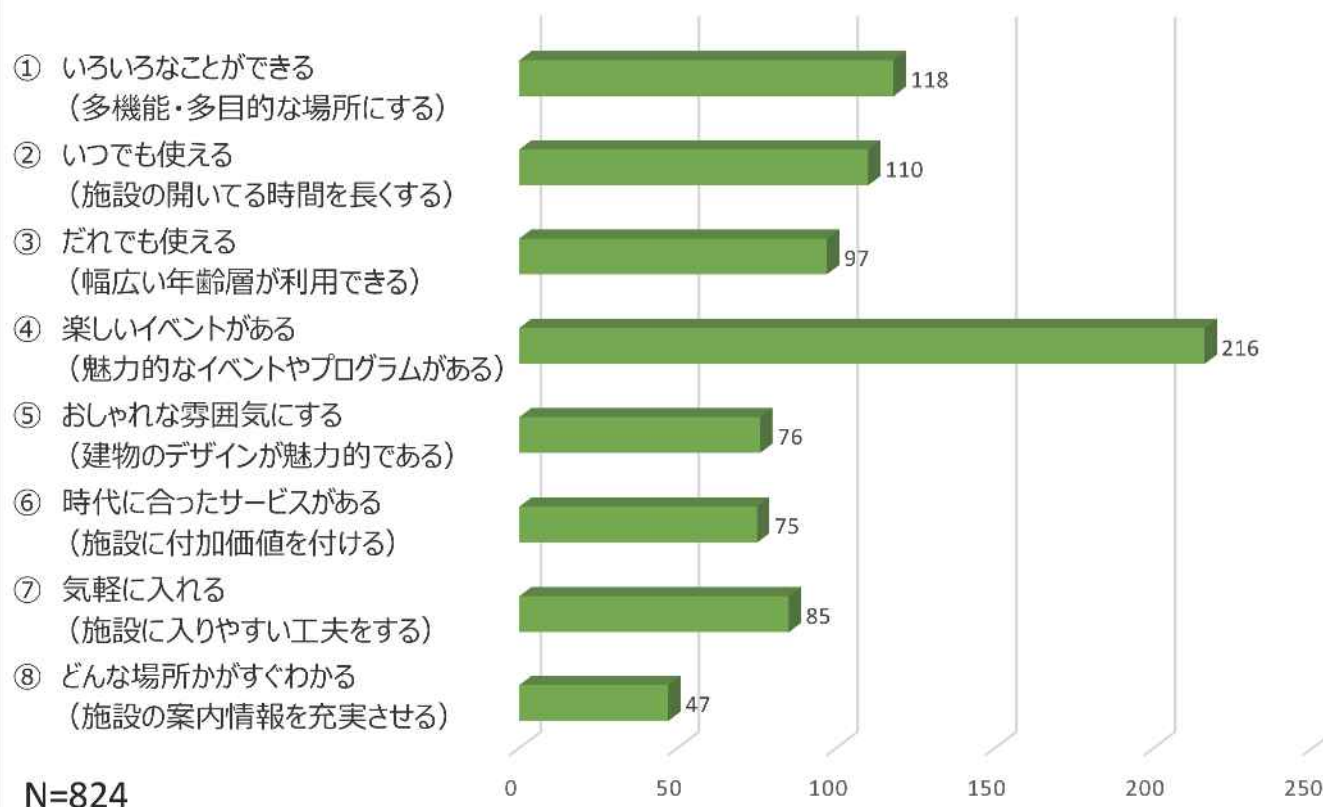
(シール投票していただいた方にはカワタン缶バッジをプレゼントしました)

【カワタン缶バッジ】



【あさお区民まつりシール投票結果】

公共施設がどうなったら使いやすくなるか



【シール投票パネル】

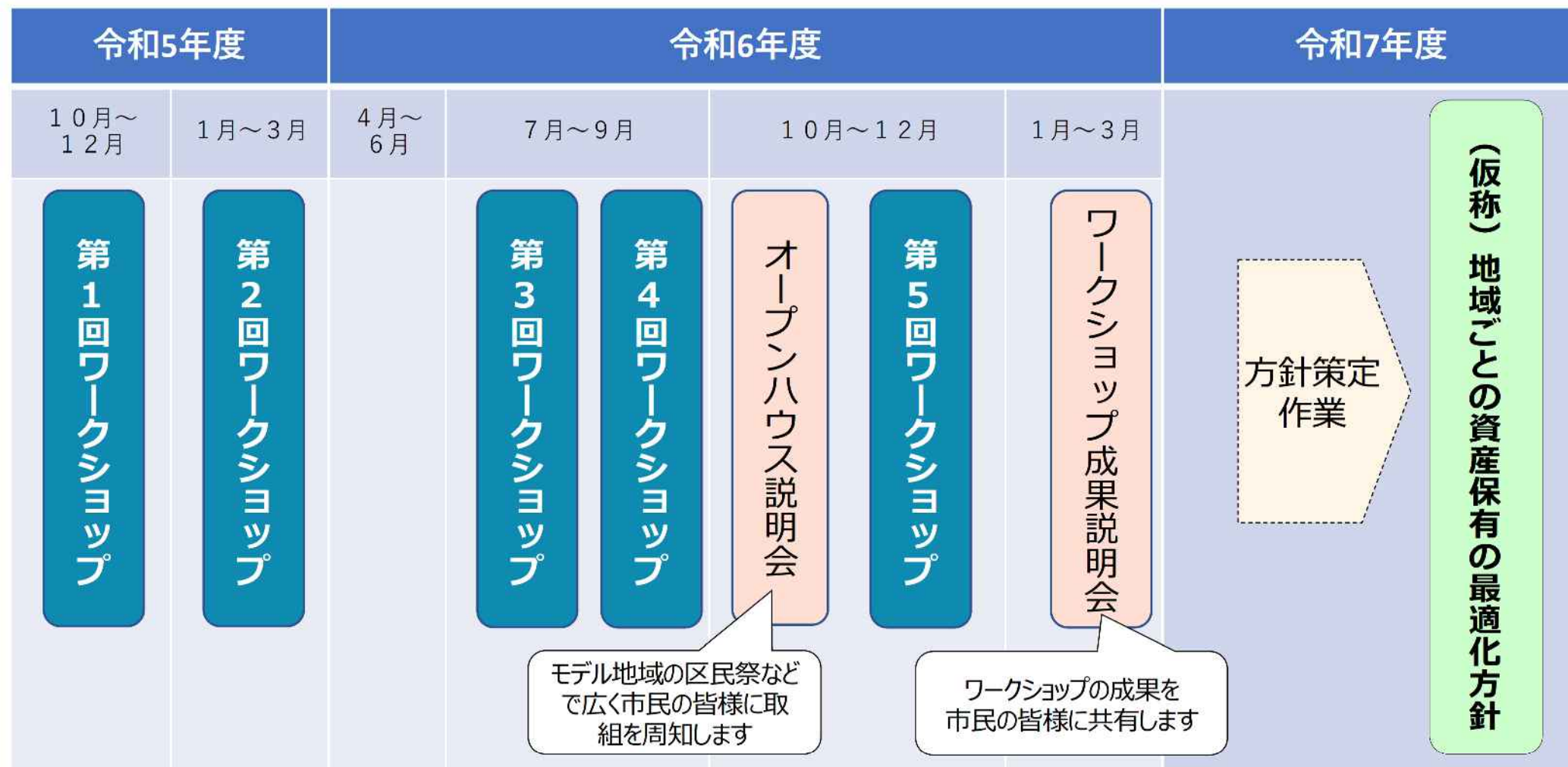


1 川崎市からの説明②

ワークショップについて

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



ワークショップについて - スケジュール -

令和5年度

第1回

カワタン
体験会

第2回

モデル
地域の
将来像・
施設の
使い方を
考える

令和6年度

第3回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討①

第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等を考える

第4回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討②

前回に引き続き、具体的な施設を基に考える
※班ごとに第3回とは別の施設を考える

第5回

第3回・第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り

班ごとに行っていた検討成果を全体に共有し、トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返る

2

本日の進め方

本日の進め方

第一部

60分

第3回・第4回の**成果を共有し、感想**を出し合おう

参加していないエリアの意見交換で出された意見を確認しよう

意見についての**感想**を出し合おう

地域の子育て
ママさんには
とても必要な
のでぜひ実現を！

〇〇に加えて
こんな機能も
あると良い

グループを移動し、別の
エリアの意見について**感想**
を出し合おう



休憩

第二部

50分

トークセッションを通じて
ワークショップ全体を**振り返ろう**

これまでのご参加に感謝し、感謝状
を贈呈

参加者・ファシリテーターによる
トークセッション

これまでの**ワークショップ**を通じた
気づきなどについて、全体で感想を
出し合おう

写真撮影



アンケート記入など
今後の予定について

グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (新百合ヶ丘駅北エリア・新百合ヶ丘駅南エリア・柿生駅エリア)

地域の公共施設の未来を考えるWS ③ 麻生区

2024
8/24④

新百合北

① 買い物や公共施設に
行きやすいウォークアブルなまちで、緑地も増え、多世代が交流できる。

① エリアの将来像

② 将来像実現のための主なアイデア

- ・ホームステイ型で、多世代が交流できる公共施設に活用する
- ・市民館の調理室を活用し、多世代が交流できる
- ・屋台村の営業(無料) 若い世代が交流できる
- ・図書館の書籍の電子化

新百合南

② 安心して暮らす文化・芸術の活動拠点かつ、なかり人もつなげているまち

② 将来像実現のための主なアイデア

② 将来像実現のための主なアイデア

- ・いろんな拠点を活用し、交流できるまちをつくる
- ・様々な施設の利用促進を図る
- ・電車の駅周辺、目的なく交流できる場所をつくる
- ・休日診療所 → 車のアクセス改善

柿生

③ 子育て世代に優しく、多くの人が集まり、交流できるまち

③ 将来像実現のための主なアイデア

③ 将来像実現のための主なアイデア

- ・スポーツ施設を、多世代が交流できる場所にする
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる

新百合北

④ 環境と生活が調和し、若い人が移住し、住めるまち

④ 将来像実現のための主なアイデア

④ 将来像実現のための主なアイデア

- ・スポーツ施設 → 無料利用、多世代が交流できる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる

柿生

⑤ 自然と生活が調和し、若い人が移住し、住めるまち

⑤ 将来像実現のための主なアイデア

⑤ 将来像実現のための主なアイデア

- ・スポーツ施設 → 無料利用、多世代が交流できる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる

新百合北

⑥ 自然と生活が調和し、若い人が移住し、住めるまち

⑥ 将来像実現のための主なアイデア

⑥ 将来像実現のための主なアイデア

- ・スポーツ施設 → 無料利用、多世代が交流できる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる

柿生

⑦ 自然と生活が調和し、若い人が移住し、住めるまち

⑦ 将来像実現のための主なアイデア

⑦ 将来像実現のための主なアイデア

- ・スポーツ施設 → 無料利用、多世代が交流できる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる
- ・子育て世代の交流、交流の場をつくる

各グループで出された論点メモ

(新百合ヶ丘駅北エリア・新百合ヶ丘駅南エリア・柿生駅エリア)



グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア
(白山エリア・王禅寺東・虹ヶ丘エリア・岡上エリア)

地域の 公共施設の未来を考える WS ④ 麻生区

2024年
9月29日(日)

《^花キーワード》

- ・ 名称: 力子
- ・ 数: 居但く、概從適合
- ・ 符号: 略毛

- ・食: 土気蓮
- ↳ 地元食材

・ 農産物は可直産
・ 漁獲物は可直産
・ 畜産物は可直産

南三市圖書館上分館

白山到了

王禪寺東·虹竹丘山?

岡上工了

④ 自然とアートを
めぐる
白山プロムナードで
人々をきかす

② 若い人も高齢者も
住みやすいと思える
静かで落ち着いたまち

③ ^{う=アと子ともが夢見る}
生活拠点と自然に
ふれあえる場が西方あり
エリア内の回遊性UPで
皆が住みたくなるまち

公園を中心に
緑ゆたかにみどりが
多世代がつながる
シンにも街がまじり

⑤ 農や緑を最大限に
活かして地域の交流・子育て
産業につなげていく

Il3a
将米像

起点施設の機能やニーズ

四ノ中ノ地

4126

2015

50年前と今の生活の比較
 ちがいの発見をしよう!!

“名探
がさる”

↓ “出た” 場所

YouTubeで見る

ことも食望あり。食べれる

又10の割合施設について
1日2回に1回寝た
とある施設に付いたらしい

- 老人亦一正備
- 若人 → 保衛他國
充實其必要

→市民生活改善

・音素分析

$\lambda = 3$ のときは $\lambda = 1$ のときと同様に
 3 重根 $\lambda = 3$ となる。

二、今利配
子、女、あ、す

紅豆

三才圖會

11. 11. 11.

- ・ 駐車場が無!!
 ハット加で来る...
- ・ 名前も変える
- ・ 寺、干(無事)使える
 地元食材を食べる

・アールスメイト
かたき

新居の
低いお庭が
よい。

- ・ こどもが大人から受けて
もらえるような複合施設に

王瑞 田 22 11.21. Mix

• 虫食 7ミ2ニテホス
たとの交通平路
もみす。

・老人 → 相平不適合い
健康診断
体力測定 できる

、同様にそのビツターセーター
と17の及第の施すを

·农作物直贡端

・トイレット = 便所

• $\int_0^1 \frac{1}{x^2} dx = \left[-\frac{1}{x} \right]_0^1 = -1 - (-\infty) = \infty$

· 食音. 公食堂

・大学生はことごとく
教える

- ・防犯の機能がある

17

各グループで出された論点メモ (白山エリア・王禅寺東・虹ヶ丘エリア・岡上エリア)



3

第一部

第3回・第4回の成果を共有し、
感想を出し合おう(60分)

休憩(20分)



4

第二部

トークセッションを通じて

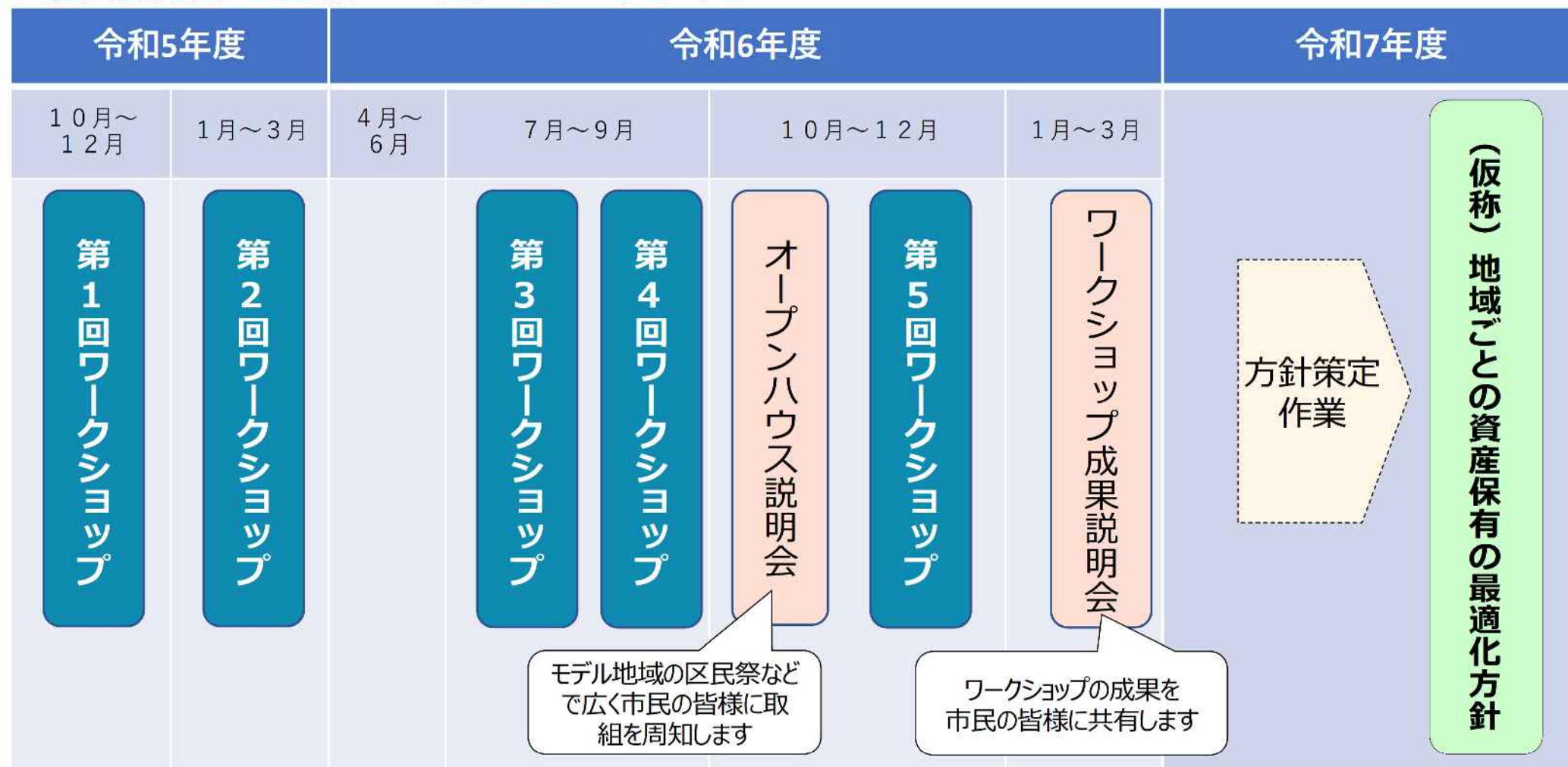
ワークショップ全体を振り返ろう（50分）

5

今後の予定・アンケート記入

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



今後の予定

■ワークショップ成果説明会 令和7年2月～3月頃予定

このワークショップの成果を広く市民の皆さまに周知します。
詳細な日時・場所が決まりましたらお知らせします。



ありがとうございました！

アンケートにご回答いただき、謝礼のお渡しとなります。